

2025 年度事業計画

NPO 法人犬山あんきにくらそう会

1. 事業実施の基本方針

新しい施設での運営も 4 年目を迎えました。看護小規模多機能型居宅介護「あんきのカンタキ」開所から 1 年が経過し、介護職員・看護師・ケアマネジャーの連携がようやく円滑に進むようになってきています。今後は医師との協働を一層深め、ご家族との信頼関係を密にしながら、利用者が住み慣れた自宅でより長く安心して暮らせるよう支援していきます。とくに在宅での看取りにも対応し、地域の「最期まで寄り添う支援拠点」としての役割を果たしてまいります。

人材確保の面では、一年半前に採用したミャンマー出身の特定技能外国人 4 名が大きな力となっています。彼女たちは日本語にも堪能で、熱意をもって業務に取り組んでおり、当法人にとって欠かせない存在です。彼女たちが安心して働き続けられるよう、サポート体制の充実に努めていきます。

一方で、スタッフ総数 51 名のうち 70 歳以上が 16 名、65 歳以上が 23 名と高齢化が進んでおり、今後の人員確保は喫緊の課題です。若年層の介護人材が減少する中、介護業界全体として厳しい状況が続いています。政府は AI やロボットの導入による「生産性向上」を推進しており、当施設でも施設移転を機に ICT 化を進め、カメラ設置や Wi-Fi 整備、記録のモバイル化などを行ってきました。

本年度はさらに、「移乗サポートロボット HUG(ハグ)」を 2 台導入し、職員の身体的負担軽減を図っています。機械が人の代わりになることはありませんが、少しでも働きやすい環境を整え、長く勤められる職場づくりを進めていきます。

全国的に介護事業の倒産件数は 172 件と過去最多を記録し、犬山市内でも閉鎖する事業所が出ています。当法人も例外ではなく、利用契約者の確保と人員の安定が経営の大きな柱となります。こうした中で、昨年度は営業利益 534 万円を確保し、税理士と協議の上、職員への年末手当として 250 万円の支給を予定しています。10 月からの最低賃金引き上げにより、今年度の経営環境は一層厳しくなりますが、地域に選ばれ、信頼される介護事業所であり続けるため、全職員が一丸となって努力してまいります。



移乗サポートロボットハグ

2. 事業の実地に関する事項

ア、本部事業

- * 認定NPO法人としての持続に努力します。
認定有効期間が令和8年6月9日までですので、令和8年2月末までに更新手続きを完了します。
- * 会員を拡大し、ボランティア組織を充実させます。
- * 利用者は原則として会員になっていただきます。
- * 理事会をはじめ、組織運営に関わる会議、集まりを大切にし、他団体や個人の訪問研修を受け入れます。
- * 理事・監事の方々に相談しながら経営努力を続けます。
- * 広報活動を充実させます。
- * 「あんきだより」は、引き続き3ヶ月に1回発行します。
- * ホームページやブログの充実に努めます。
 - ホームページ URL [http// www. anki.or.jp](http://www.anki.or.jp)
※移転に伴い新しいホームページになっています。
 - ブログ URL <https://ameblo.jp/ankinoie/>
“あんきの家 ブログ”で検索して探せます。
 - インスタグラムもホームページから見るができます。
- * 他団体との交流を積極的に行い、事業の発展とPRに努めます。
- * 町内会、自警消防団活動に参加します。
- * 旧今井あんきの家の施設の活用方法を具体的に検討します。介護職員募集の要項に、職員寮としての利用も検討していきます。

イ、介護事業

(1) グループホーム、共用型デイサービス（グループホーム内）

地域密着型サービスです。柔軟に対応し地域の高齢者、家族のニーズにきめ細かく対応します。長年営業していない共用型デイサービスを要支援の人へのサービスとして再開を目指します。

(2) 看護小規模多機能型居宅介護（あんきのカンタキ）

看多機(看護小規模多機能型居宅介護)は、「通所」「訪問」「宿泊」に、4つめ「訪問看護」が加わったサービスです。この4つのサービスで、自宅で暮らすための支援を行ないます。更に言えば「最期を自宅で迎えたい」という希望にも出来る限り寄り添っていきます。カンタキに変更した事により、ほとんどの医療処置に対応できるようになりました。介護だけでなく、医療スタッフとの連携を今まで以上に強化し、安心して

自宅で暮らす事ができるよう支援します。

地域密着型の在宅支援サービスです。できるだけ長く住み慣れた自宅で過ごせるように支援していきます。

- * 他事業所（あんしん相談センター、病院など）と連携を密にとり、利用者の需要にこたえるために営業に努めます。
- * 医療依存度の高い人も受け入れ、看護と介護の連携を充足します。
- * 塔野地の新施設では月に1回の介護相談日を定着させます。
- * 介護保険法の改定に併せ、勤務体制の充実に努めます。認知症への理解をさらに深め、虐待防止、感染予防に努めます。
- * 運営推進会議が第三者評価に活用されることになりました。内容の充実に努めます。施設の避難訓練などに、地域の方の参加も呼びかけ施設の中（内情）も見てもらえるように努めます。
- * 研修講座へ積極的に派遣します。
- * 日常的に研修の機会を設けて介護スタッフの資質の向上に努めます。
- * 利用者家族との連携を密にし、利用者の終末も看守ります
- * 共用デイサービスの利用も進めていきます。
- * 「井戸端ごよみ」を四季発行します。
- * 感染症や非常災害の発症時におけるの提供を継続的に実施するために業務継続計画を策定し、業務継続計画に従い必要な措置を講じます。

(3) 訪問看護ステーション

- * 地域に開かれたステーションを目指し地域の健康増進にも貢献します。
- * 多くの訪問看護ステーションが開設されている中、NPO 法人犬山あんきにくらそう会の特性を生かした介護・医療・福祉の面からの在宅生活継続支援をめざし、新規の利用者様にサービスが提供できるよう努力します。
- * 訪問看護についての学習に積極的に参加し、新しい知識・技術の取得を行い、感染対策を図りながら在宅生活が安心して過ごせるように訪問看護を充実させます。
- * 看護小規模多機能型居宅介護での訪問看護を円滑に導入し、介護スタッフとの連携を密に充実した看護が提供できるよう進めていきます。

ウ、 在宅福祉サービスに関する事業

(1) あんき事業

- * 旧「今井あんきの家」の建物は全部で4か所ありますが、2か所は現在、個人契約中で活用しています。
- * 配食サービス、通院援助等地域密着型サービスの向上をはかります。配食サービスの利用増に合わせて、スタッフの確保にも努めます。
- * NPO「こどもの健全育成」事業にも参加します。
- * 町内の行事を大切にします。夏祭り、紅葉狩り、クリスマス、正月等、四季折々の節目に会員や地域の人たちとの交流を持ちます。
- * 旧今井あんきの家にあるサロンでの月2回のカフェ「井戸端」も、地域の方に定着しています。お話し合いなど、介護予防講座・地域の方たちとの交流の場所とします。
- * 旧施設では太陽光発電を導入していますが、新しい施設でも導入できないか検討していきます。(蓄電池等)